

夫とキュウリ

小川 はつこ

たった三坪の 畑のキュウリ

成長を楽しむ 夫

食べることを楽しむ 私

水をやり、ひっくり返したビールケースを椅子にして

夫は 畑の苗を眺めて過ごす

ここに居ると、何時間居つても 飽きんわ

そして、また立ち上がって 水をやる

もう食べ頃やなあ

私が 右手に持ったハサミを

一本のキュウリに そうつと近づけた

もうちょっと 待つここに

あわてて 夫がビールケースから腰を上げる

それでも私は左手を伸ばし

透明な棘がツンツンした みずみずしい一本に触れてみた

痛い！

まだ採らんといつて、キュウリが抵抗しとんのや

そう言つて 夫は腰を下ろした

幼い頃の思い出を、静かな声で夫が話す

塩を振つただけのキュウリを、一本なり食べた事ある？

俺は食べたよ、何百本も 子どもの頃やけどな

日の暮れ、友達とバイバイした後

母ちゃんの帰りをいつも待つとつた

家の前に立って しょっぱいキュウリを囓つて

腹へつたんをごまかしながら 母ちゃんを待つとつたんや

日がとつぷり暮れて やつと母ちゃんの黒い影が見えた時

母ちゃんのキュウリは、うまいなあ！！

いつも いつも 大声で叫んだつた

ほんで、涙を しもといた

働きつめの母ちゃんが、たまの休みに一緒に植えてくれたキュウリ

それが嬉しくて、母ちゃんが居ない時も水をやつたキュウリ

納屋の中から支柱を捜し出してきて、小さな手で立ててやつたキュウリ

キュウリの抵抗を受けて立ち

私は せつせとハサミを使う

大きな筈には 山盛りのキュウリ

蔓から切り離され へタから汁を出している

畑に立てた風車かざぐるまが 歌い出す

カラカラカラ

畑のキュウリは三十センチ

カラカラカラカラ 豊作キュウリ

酢の物に 煮物 漬け物 キュウリモみ

キュウリおろしに キュウリの炒め

いくら食べても まだまだ獲れる

まいったか!?

キュウリの抵抗 第2弾

風車は カラカラと笑っている

キュウリの葉が 黄ばみ始めた

あんなに旺盛につけていた実は もう無い

それでも夫は 水をやる

まだ、黄色い花が ついとるでなあ

自分の背丈より 高く育ったキュウリが落とす 影の中

夫は何かに語りかける

十月 枯れた蔓を片づけた

来年からは、キュウリはもう やめや

宣言した夫

今日は夫の 誕生日

母ちゃんの歳を越えた